

(2) 本研究における 学級活動（１）の授業の考え方

ア 学級活動（１）の活動プロセスの考え方

学級活動（１）では、学級活動（１）の計画・立案、話し合い活動（集団決定）、実践、振り返りの一連の活動プロセスを取ります。計画・立案では、計画委員会において議題や提案理由を考え、学級全体に知らせて共有させます。それから学級会で実践に向けて話し合い、話し合ったことを基に実行し、その後、一連の活動の成果を話し合います。

学級活動の一連の活動について、杉田は下記のように述べています。

「学級や学校を社会と捉え、よりよい生活づくりや自分づくりを目指して自主的に取り組む『目標をもつ』→『その方法などを話し合っ決めて（集団決定・自己決定）』→『実際に実行する』→『振り返って、反省などを次に生かす』の話し合い活動を中核とした活動プロセスは、自己（人間として）の生き方について考えを深める（自覚する）ための適切な思考プロセスとなる。」⁽⁵⁾

そこで、図 3 のように、学級活動（１）の集団決定に関わるプロセスに、主に学級活動（２）で行う自己決定のプロセスも取り入れます。学級活動（１）の話し合い活動において、集団決定に関わって自分の役割が決まったことを受け、自分の役割について個人目標の自己決定をさせます。そして、役割ごとの話し合いで計画を立てさせ実行に移させます。一連の活動の振り返りでは、集団決定に関わる自己目標について「何ができたか」「どんな努力があったか」等を個人で考えさせます。その際、集団活動の特質とする学級活動として、個人の活動の振り返りをさせながらも、それらを共有させ、集団活動に貢献したことを感じられるように、集団の教育力を積極的に活用したいと思います。また、自他の活動のよさを承認し合う活動を充実させることで、自分の生き方を見つめさせることにつなげたいと思います。以上のことから、学級活動のプロセスを大切に、道徳的实践を促していきます。

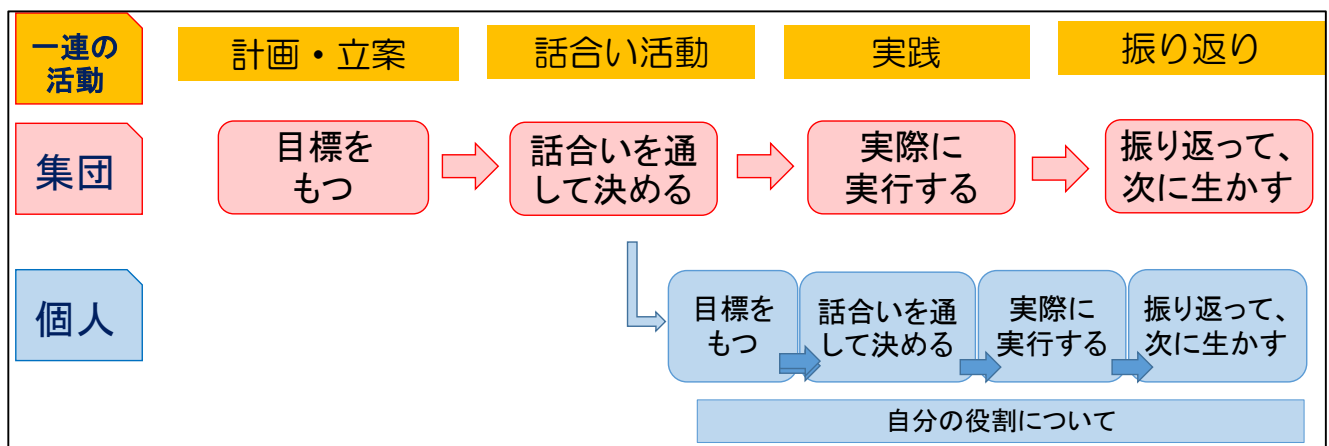


図 3 学級活動の一連の活動と集団及び個人の活動との関連

イ 本研究に関わる学級活動の年間の流れ

本研究の視点を取り入れた学級活動（１）の最初の題材において、話し合い活動と実践活動について、自他の活動のよさを「学級の宝」「宝候補」として価値付けていきます。次の題材からは、最初の題材で価値付けた「学級の宝」「宝候補」を観点として、自他の活動のよさを見付けさせます。年度末には、学級活動（２）において、「学級の宝」について集団決定してきたことを生かして、今までの自他の活動のよさを振り返り、これからの生活に生かす方法を自己決定させます。

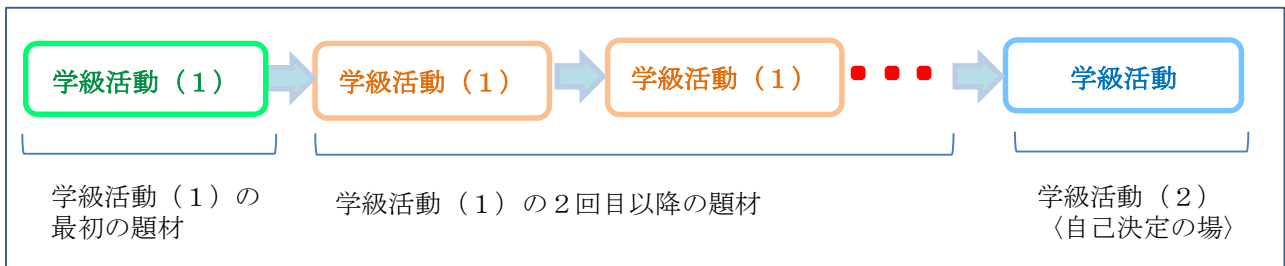


図 4 本研究に関わる学級活動の年間の流れ

ウ 学級活動 (1) の活動プロセスの工夫

学級活動の一連の活動を大切にするとともに、道徳的価値を意識させる手立てを取ります。

過程	学習活動	道徳的価値の意識化の手立て	
		学級活動 (1) [最初の題材]	学級活動 (1) [2回目以降の題材]
計画・立案する	<p>議題を決めて、目標をもつ</p> <p>計画委員会 議題の選定 → ミニ学級会 議題の決定</p> <p>計画委員会 柱の決定 → ミニ学級会 学級会カード記入</p>	提案理由の共有により、活動のねらいに含まれる道徳的価値について意識させる。	提案理由の共有により、活動のねらいに含まれる道徳的価値について意識させる。
話し合う	<p>話し合いを通して決める</p> <p>学級会 話し合いの柱に沿って話し合う。</p>	提案理由に含まれる道徳的価値に気付かせる。 柱2で役割分担をし、「よさを生かす」「挑戦する」という視点をもたせる。	提案理由について考え、活動を通して増やしたい宝(「宝候補」)を確認する。
実践する	<p>実際に実行する</p> <p>準備活動・集会活動 話し合っただけのことを実行する。自分の役割をもつ。自分の目標をもつ。</p>	自他の活動のよさを、様々な角度から見つめさせるための観点を示し、見付け合わせる。	自他の活動のよさを「学級の宝」「宝候補」を観点として見付け合わせる。
振り返る	<p>振り返って、次に生かす</p> <p>振り返りの会議 見付け合ったよさを伝え合い、認め合う。</p>	自他の活動のよさを伝え合わせ、活動のよさに含まれる道徳的価値に気付かせる。	「学級の宝」「宝候補」を観点として、自他の活動のよさを振り返ることで、活動のよさに含まれる道徳的価値に気付かせる。

〈引用文献〉

(5) 杉田 洋

『道徳と特別活動』2015年6月号 p.35 ぶんけい

工 研究の視点を取り入れた年間計画

下の表は研究の視点を入れた第3学年の学級活動年間計画です。年間を通して、「学級の宝」を増やし、使っていく意識をもたせたいと考えます。

[第3学年 学級活動年間計画]

本研究と関わる題材 学級活動(1) … 学級活動(1) … 学級活動(2) …

月	学級活動(1) 学級や学校の生活づくり	学級活動(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全	朝の会・帰りの会など ショートの時間
4	○3年1組スタートの会 ○毎日の暮らし、学級の仕事	○「3年生になって」 ー学級目標を考えようー ア ○たくさんの友達 ウ	・朝の会と帰りの会 ・給食の準備と片付け
5	○係を決めよう【話し合い活動①】 ○学級の歌をつくろう 【話し合い活動②】 ○学級のマークをつくろう 【話し合い活動③】	○図書館の使い方 オ	
6	○みんながもっとなかよくなる 集会をしよう 【話し合い活動④】 ○同【準備活動】	○虫歯の予防 カ ○教室をきれいに エ	
7	○同【実践活動】 ○同【振り返り活動】	○楽しい夏休みにしよう イ	
9	○2学期の係を決めよう 【話し合い活動⑤】 ○「係がんばろう週間」を振り返ろう 【振り返り活動】	○忘れ物0作戦 イ ○うれしいことば いやなことば ウ	
10	○楽しい○○をしよう(異学年 交流) 【話し合い活動⑥】 ○同【準備活動】 ○同【実践活動】 ○同【振り返り活動】		
11	○学級の問題を解決しよう 【話し合い活動⑦】	○男の子、女の子 カ(ウ) ○栄養を考えた食事 キ	・話し合い活動⑦の振り返り
12		○気温とうがい カ ○楽しい冬休みにしよう イ	・冬休みの暮らし
1	○係をもっと楽しくしよう 【話し合い活動⑧】 ○地域のお年寄りと○○をしよう 【話し合い活動⑨】	○感謝して食べよう キ	
2	○同【実践活動】 ○同【振り返り活動】	○宝を使おう ア(ウ)	
3	○ありがとう集会をしよう 【話し合い活動⑩】 ○同【実践活動】	○楽しかったね3年生 ークラスと自分の成長ー ア	・話し合い活動⑩の振り返り ・春休みの暮らし

35時間 (+2時間)

オ 意識させたい道徳的価値

活動に入る前に、「学級の宝」となりそうな観点を特別活動で育てたい道徳性や道徳教育の内容と関連させながら予想しておきます。そうすることで、教師が、児童の活動の価値付けを意図的に行えるようにします。下記の表は、3年生における学級活動（1）で意識させたい道徳的価値を探る際に使った表です。「みんな笑顔集会をしよう」は、研究の視点を取り入れた学級活動（1）の最初の題材です。この題材で道徳的価値を探る際は、道徳教育の内容と児童のよさ見つけの記録（「よさ色通帳」）を照らし合わせ、活動のよさに含まれる道徳的価値を確認していきました。

表 1 意識させたい道徳的価値

道徳教育の内容	「学級の宝」及び「宝候補」	予想される「学級の宝」及び「宝候補」					
		学級活動（1）題材名					
		う集み 会みな をしな し笑顔 よ顔	週係 間が んば り	しフ よエ うス タ笑 を顔	うを学 解級の 決の問 しよ題	し寄地 よりの 交お 流年	
A主として自分自身に 関すること	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと						
	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること						
	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする						
	自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと	よさを生かす	○	○	○	○	
	自分の役割を果たす		◎	○	○	○	
自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと	挑戦する	○					
B主として人との関わり に関すること	相手のことを思いやり、進んで親切にすること	優しくする	○	○	◎	○	
	1年生への思いやりをもつ			◎	○	○	
	家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること	感謝を伝える					◎
	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること	お年寄りを敬う					
	友だちと互いに理解し、信頼し、助け合うこと	ありがとうの気持ちをもつ	○	○	○	○	○
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること	意見を出す						
C主として集団や社会との 関わりに関すること	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る	約束を守る				◎	○
	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること						
	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと	進んで働く	◎	○	○	○	○
	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること						
	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること	協力する	◎	◎	○	○	○
	声を掛ける	○		○	○	○	
「学級の宝」及び「宝候補」として生まれる機会		振り返りの話し合い	提案理由の内容				

○意識させたい道徳的価値 ◎特に意識させたい道徳的価値

学級活動における児童の活動には、道徳教育に資する多くの要素が含まれています。児童の活動に含まれる道徳性を価値付けることで、児童は自分達の活動に自信をもち、自己有用感も抱くことになると考えます。そこで、以下の方法で、児童に活動に含まれる道徳的価値を「宝」として捉えさせていきます。

- ① 自他の活動のよさを振り返る過程で、活動に含まれる道徳的価値に気付く。
- ② 学級会の提案理由を通して、題材の活動目標に含まれる道徳的価値に気付く。